

ヒラメが踊り、アワビが舞う 「がっぱり海の幸フェスタinわたためがして大成」

7月26日(土)、大成区道の駅てっくいランドにおいて、せたな町3大イベント第2弾「がっぱり海の幸フェスタinわたためがして大成」が開催されました。

この日は、時折強い雨が降るなど天気には恵まれませんでしたが、たくさんの方が会場に来場されました。

大人気「ヒラメつかみどり」では、子どもから大人までたくさんの方が参加。ヒラメの動きに戸惑いながらも大物を上手に素手で捕まえる子どもたちや、大物を狙って激しい戦いを繰り広げる大人たちなどで、大きな盛り上がりを見せました。

引き続き、特設ステージでは、郷土芸能や歌謡ショーをはじめ、わたためがしてビンゴ大会が行われました。

ラストの「がっぱりアワビもちまき」では、ステージ前に1000個のアワビがまかれ、あわびもちまきを目当てに待ち続けた来場者の皆さんで賑わいました。





迫力ある花火に拍手と歓声！ 「せたな漁火まつり」

8月2日（土）、3日（日）、瀬棚漁火公園において、せたな町3大イベントのラストを飾る「せたな漁火まつり」が開催されました。初日は恒例の餅まきでスタート。

晴天のもと、たくさんのお客さんで賑わった会場では、名物活イカの釣堀コーナーはもちろん、地元食材が並ぶ各売店は大盛況。特設ステージでは、瀬棚中学校吹奏楽部による演奏や一般の方がステージ上で歌を披露する「ド素人ニコニコのど自慢」、ビンゴ大会に続き、みのや雅彦さんによるスペシャルライブが行われ会場をおおいに沸かせました。

初日のクライマックスとなる花火大会では約2700発もの花火が夏の夜空を彩り、迫力ある花火に最後は大きな歓声と拍手が巻き起こっていました。

また、特設会場では約20台のアートトラックによるチャリティーショーも行われ、鮮やかなイルミネーションに多くのお客さんが集まっていました。

2日目は、急ぎ開催された綱引き大会や子どもたちによるストラックアウト大会のほか、活イカつかみ取りなどで盛り上がり、2日間晴天に恵まれた漁火まつりも無事終了しました。

